

まさかりかついで（1948）

メディア 映画 アニメ

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

時間 7分

初公開日 1948/04/

【解説】

太平洋戦争直後、日本漫画映画社が製作したエコロジーがテーマの短編アニメ映画。

大きな鉞（まさかり）を振り回し、山に生えた大木を次々と斬り倒していく熊さん。だが彼の行き過ぎた伐採は、水害の際に大きな被害を招いてしまうのだった。

政岡憲三、山本早苗の二大スタッフが去ったのちの、日本漫画映画社で製作。監督（演出）は、のちに東映動画（東映アニメーション）に入社して劇場長編作品『ガリバーの宇宙旅行』（1965年）の作画監督も行なった古沢秀雄（日出夫）。擬人化された熊を主人公に、森林保護の大切さと水害の脅威を訴えた。音楽は、東映京都の少年向け時代劇「まぼろし小僧」シリーズなどを作曲した伊藤宣二が担当。

【クレジット】

演出 古沢秀雄

原作 上金好裕

撮影 喜多村保

作曲 伊藤宣二

演奏 コロムビア・オーケストラ

指揮 伊藤宣二